

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 檜山管内 厚沢部町立館小学校

### 本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間と関連させて、「函館市北方民族資料館」の見学や体験活動を位置付け、北海道アイヌ教育相談員を外部講師として招聘した講話等を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等や自分たちの生活との関わりについて探究的に学習しました。

### ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### 単元の目標

北海道への理解を深め、ふるさとに対する愛着を育むため、アイヌの人たちの歴史・文化等に触れる学習や体験を通して、自分たちの生活とアイヌの人たちの歴史や文化等の相違点について、「衣」「食」「住」などの視点で具体的に考えるとともに、関わりについて理解し、北海道の歴史・文化等に関心をもち、発表したり、相手に伝えたりすることができるようにする。

#### 取組の様子

##### (1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、副読本「アイヌ民族：歴史と現在 - 未来を共に生きるために -」、絵本「イソポのはなし」等を活用し、アイヌの人たちの歴史・文化等に対する興味・関心を喚起しました。児童は、アイヌの人たちの文化が身近な生活の中にあることを知り、「衣」「食」「住」「言語」「文化」「歴史」のテーマから、私たちの生活とどのような関わりがあるのかを柱に、探究的な課題を設定しました。



【講話の様子】

##### (2) 情報の収集

「函館市北方民族資料館」の施設見学や体験活動を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等について情報を収集しました。



【1人1台端末で交流・協議する様子】

##### (3) 整理・分析

1人1台端末を活用し、収集した情報を整理するとともに、共同編集機能により、同じ課題を設定した児童同士で交流・協議し、アイヌの人

たちの歴史・文化等や自分たちの生活との関わりについて理解を深めました。

##### (4) まとめ・表現

一人一人が作成したスライドや動画を用いて発表し合うことを通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解し、郷土に対する愛着を育むとともに、アイヌの人たちの歴史・文化等の学習をもとに、北海道の歴史・文化等について理解を深めることができました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・課題解決に向けて学習を進めることができるよう、課題の設定の場面で、児童一人一人が取り組む課題を明らかにしたり、解決の方向性を見通したりする場面を位置付けました。
- ・課題について理解を深め、新たな課題解決の視点を得ることができるよう、共通する課題に取り組む児童同士で1人1台端末の共同編集機能を活用し、交流や協議を行いました。

### 実践の振り返り

- ・児童自身が設定した課題について、探究的に学習を進めたことにより、アイヌの人たちの歴史や文化等に対する興味・関心が高まるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- ・教科等横断的な視点で総合的な学習の時間の年間指導計画の見直しを図ることにより、各教科等の学習内容を含め、より一層理解を深めることが期待できます。